



平成 28 年 8 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 鳥 貴 族  
代 表 者 名 代表取締役社長 大 倉 忠 司  
(コード番号：3193 東証第一部)  
問 合 せ 先 管 理 部 部 長 小 畑 博 嗣  
( TEL. 06-6562-5333 )

## お客様への食品添加物アルコール製剤誤提供についてのお詫びとお知らせ

この度、当社の直営店である「鳥貴族 南柏店」において、食品添加物アルコール製剤をチューハイに用いる焼酎と誤って提供してしまうという事案が発生しました。被害に遭われましたお客様及び関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。なお、当該食品添加物アルコール製剤は、人体への影響がないことを確認しており、現時点においては健康被害等の報告はありません。

### 記

#### 1. 概要

発 生 店 舗 : 鳥貴族 南柏店  
発 生 期 間 : 平成 28 年 7 月 19 日 (火) ~ 平成 28 年 7 月 23 日 (土)  
対 象 商 品 : チューハイ (すだち、スイカ、白桃おろし、レモン、ゆずはちみつ、  
ピンクグレープフルーツ)  
提 供 数 : 151 杯  
誤 提 供 物 : 食品添加物アルコール製剤  
サトウキビから精製された飲料用にも使用されるエタノールを原料としたアルコール製剤。食品由来のエタノール及び食品添加物のみを原料としており、食品に対しても使用可能なことから、当社においては手指消毒に使用。

#### 2. 経緯

平成 28 年 7 月 19 日に当社従業員が、チューハイ提供時に使用するドリンクサーバーへ焼酎を接続すべきところを誤って食品添加物アルコール製剤を接続し、そのことに気付かず当該ドリンクサーバーを使用してお客様へ商品を提供しておりました。誤って接続した時点でドリンクサーバーから抽出されるチューハイに異変が認められたため、ドリンクサーバーに不具合が生じたとの認識をもち、平成 28 年 7 月 22 日にドリンクサーバーのメンテナンスを手配したものの、この間も誤った商品を提供しておりました。

平成 28 年 7 月 23 日にメンテナンスを実施するなかで、異変はドリンクサーバーの不具合によるものではなく、ドリンクサーバーに接続している原液が原因である可能性が高いと判断したため、当該ドリンクサーバーの使用を中止し、新たな焼酎を開封のうえチューハイの提供を行いました。

その後、原液の調査を行った結果、当該原液は焼酎ではなく食品添加物アルコール製剤であったことが確認され、本件が発覚いたしました。なお、管轄の保健所へは報告をいたしております。

### 3. 原因

食品添加物アルコール製剤を誤ってドリンクサーバーに接続した原因は、以下のとおりであります。

- ① 焼酎及び食品添加物アルコール製剤は、両方とも透明の液体であり、かつ抽出口が付いた透明な容器を段ボール製の包材で梱包したもので、形状・サイズが似ていたこと。
- ② 厨房内に段ボール製の包材を置いてはならないとの南柏店におけるマニュアルの誤認識のもと、焼酎及び食品添加物アルコール製剤を梱包している段ボール製の包材を廃棄し、透明な容器のみの状態で使用していたため、見た目には焼酎との区別がつかなかったこと。
- ③ 食品添加物アルコール製剤の抽出口部分がドリンクサーバーの接続口部分の口径サイズに近似しており、強引に接続することが可能だったこと。

本件発覚後、ただちに直営店全店を改めて調査し、同様の誤接続がなされている店舗がないことを確認しております。

### 4. 再発防止策

- ・ 包材・容器が、一目で焼酎と区別できる規格の食品添加物アルコール製剤を、本日鳥貴族全店に配送し、一斉入替の手配を行いました。
- ・ 焼酎の交換作業に関する詳細な手順書を作成し、全店に周知徹底いたします。
- ・ 食品添加物アルコール製剤の保管場所を改めて定め、食材と混同しないよう周知徹底いたします。
- ・ 自主検査において、これらの再発防止策の実施状況をチェックいたします。

### 5. 今後の対応及びお客様お問合せ窓口

お客様からのお問合せ窓口を設け、被害に遭われたお客様に対して誠心誠意対応させていただきます。つきましては、対象商品分の代金を返金させていただきますので、お心当たりのあるお客様はレシートをご用意のうえ以下のお問合せ窓口までご連絡いただきますようお願いいたします。また、レシートをお持ちでない場合は、ご来店日時、ご注文商品、ご来店人数等を伺ったうえで返金させていただきます。

**《お客様お問合せ窓口》**

お問合せ窓口：050-8881-2798

(受付時間：午前10時～午後5時(土曜日、日曜日、祝日を除く))

### 6. 今後の業績に与える影響について

本件が当社の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、開示すべき事項が今後発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上